



大型連休終わる

6日（土）は立夏でした。学校の周りは、すっかり夏めいてきてました。暦の上でも、もう夏。暦どおりに気温が上がったので、いきなり夏かと思っていたら、寒さが戻ってきてびっくりしました。

大型連休が終わり、子供たちが元気に戻ってきてくれました。ご家庭では、お子さんとゆっくり話す機会ができましたか？

【昨日からの雨で校門には水たまりができました。

これにもびっくり！でも子供たちは上手に歩きました。】



ご協力ありがとうございました。

避難訓練（地震・引き渡し訓練）

「5月1日（月）13：40（5校時） 学習時間中に大きな地震が発生した。

校庭への避難は完了したが、余震や二次災害の恐れがあるので、保護者に引き渡して安全に下校させる。」

という設定で避難訓練を行いました。今年は朝日中学校区で合同の引き渡し訓練として、家庭の状況によっては中学生が弟妹のいる小学校に来てから避難することとしました。

子供たちは、たいへん落ち着いた様子で訓練に参加できました。子供たちに尋ねてみると、高学年を中心に、東日本大震災（平成23年3月11日）について知識として知っている子は、かなり多くいましたが、そのとき、6年生でもまだ生まれたばかり。当時の記憶は、もちろんありませんし、多くの子たちにとっては、まだ生まれる前のことです。

校庭へ学級ごとに整列後、人員を確認、保護者が来校した順に引き渡しです。お迎えの連絡メールの配信は14：15。全員の引き渡しが終わったのは15：15頃でした。

この後、すぐに職員間で今日の引き渡し訓練について振り返る時間を持ちました。避難訓練としては、子供たちも先生たちも保護者の皆さんの動きもスムーズで、避難経路や引き渡しの方法などは、ねらい通りに行うことができました。しかし、本当に起きてしまったら…校庭への並び方について、誘導について、駐車場の状況について、外部との連携、暑さ（寒さ）対策などたくさんの意見が出ました。今回は、授業中を想定した訓練でしたが、登下校時、休み時間など、その時々、時季によっても、雨の場合は、台風の場合は、雪の場合は、など、その天候によっても対応の方法が変わってきます。その時々で、柔軟に対応する備えをしておくことを改めて考えさせられました。

学校は緊急時の避難場所になることもあります。その時、学校は、家庭は、地域は、何ができるのか。行政の支援、インフラの状況など、様々なことを考えると、やはり、普段からの地域の結びつきを大切にしておく必要があるのではないかと考えます。

保護者の皆さんも、学校へ迎えに行くのに時間がかかる時どうするか、もしもの時に、我が子を迎えに行けない場合、ご近所の方をお願いできるようにしておくことも必要でしょう。

保護者の皆さんには、平日の日中に学校まで来ていただくという設定にご協力いただき感謝いたします。おかげさまで、いろいろな改善点を話し合うことができました。ご家庭でも、この機会に、改めて緊急時の対応について話し合い、考える機会としていただき、お気付きのことがありましたら、学校へもお知らせください。



【中学生も到着】

